

## 社会・地理歴史・公民

### 1 社会・地理歴史・公民科における課題

基礎的・基本的な知識，概念を身に付けさせ，さらに，知識・技能を活用させること。  
我が国の伝統や文化等に関する教育を充実させること（中学校社会科の各分野，高等学校公民科）。  
諸外国についての基礎的な知識を充実させること（小学校社会科）。  
世界の地理や歴史に関する内容を充実させること（中学校社会科の地理的分野，歴史的分野）。  
新しいものを創り出し，よりよい社会の形成に向け，主体性をもって社会に積極的に参加し課題を解決していくことができる力を身に付けさせること。

### 2 これからの社会・地理歴史・公民科教育について

社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察し，公正に判断する能力と態度を養い，社会的な見方や考え方を成長させることを一層重視する。  
習得すべき知識，概念の明確化を図るとともに，コンピュータなども活用しながら，地図や統計など各種の資料から必要な情報を集めて読み取ること，社会的事象の意味，意義を解釈すること，事象の特色や事象間の関連を説明すること，自分の考えを論述することを一層重視する。  
我が国の国土や歴史に対する愛情をはぐくみ，日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きるとともに，持続可能な社会の実現を目指すなど，公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力を育成することを重視する。

### 3 学習指導要領の改善について

#### 小学校

- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習得（広い視野から地域社会や我が国の国土に対する理解を深める）。
- ・ 地域や我が国の歴史や文化に関する学習の充実。
- ・ 社会の形成に参画する資質や能力の基礎を培う。
- ・ 言語活動，問題解決的な学習の一層の充実による思考力・判断力・表現力の育成。

#### 中学校

##### <主な改善点>

- ・ 調べ学習から世界や日本の諸地域学習へ主軸を移して内容構成（地理的分野）
  - ・ 学習内容の構造化・焦点化による理解の深化と定着（歴史的分野）
  - ・ 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を生かして内容構成（公民的分野）
- ##### <言語活動の充実>
- ・ 世界の様々な地域や身近な地域の調べ学習（地理的分野）
  - ・ 各時代の特色や時代の転換の様子をとらえる学習（歴史的分野）
  - ・ 持続可能な社会を形成するという観点からの課題探究学習（公民的分野）

#### 高等学校

- ・ 各科目の特質と相互の関連性を考慮しながら，習得した知識，概念や技能を活用して，世界や日本の歴史的な事象や地理的事象，現代社会の諸事象について考察し，その内容を説明したり自分の考えを論述したりすることを通して，社会的な事象についての見方や考え方を成長させるとともに，人間としての在り方生き方についての自覚を一層深めることを重視する。

### 4 社会・地理歴史・公民科における言語活動の充実

- ・ 観察・調査や資料活用を通して必要な情報を入手し的確に記録する学習，それらを比較・関連付け・総合しながら再構成する学習，考えたことを自分の言葉でまとめ伝え合うことによりお互いの考えを深めていく学習を重視する（小学校）。
- ・ 社会的な事象の意味，意義を解釈する学習や事象の特色や事象間の関連を説明するなどの学習を充実させる（中学校）。
- ・ 各種の統計，年鑑，白書，新聞，読み物，地図その他の資料を収集，選択し，それらを読み取り解釈すること，観察，見学及び調査・研究したことを発表したり報告書にまとめたりすることなどの学習を取り入れる（高等学校）。

## 5 思考力・判断力・表現力等の育成のための授業実践例

### 【小学校 第4学年】

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）												
<p>1 本時の学習内容の確認 本時のめあてを知る。</p>	<p>なぜ、消防署があるのに消防団があるのだろう。</p>	<p><b>教</b></p>												
<p>2 消防団について考える 消防団と消防署の違いを知る。 共通点・相違点を発表する。</p>	<p>前時までに調べた資料をもとに表にまとめておく。</p> <table border="1" data-bbox="587 667 1024 775"> <thead> <tr> <th></th> <th>消防団</th> <th>消防署</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活動</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>消防署・消防屯所・消火栓の位置の分布図、消防署・消防団の数や人数等の変化を併せて提示する。</p>		消防団	消防署	数			人数			活動			<p>グラフや統計等の資料の見方は繰り返し指導し、常に確認する。比較の視点を示す。</p> <p><b>考</b></p> <p>既習の内容や他の児童の意見と比較・関連付けて考えさせる。複数の視点から考えさせる。</p>
	消防団	消防署												
数														
人数														
活動														
<p>消防団は本当に必要なのか考え、発表する。</p>	<p>分布図や表をもとに発表させる。</p>													
<p>ことばの力活用POINT 根拠をもとに考えさせ、発表させる。また、他者の意見と関連付けて発表させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの町を消防署の20人くらいで火事から守るのは大変だし、消防団と一緒に消した方が早く消せると思う。</li> <li>・消防署から遠いところにある家は、近くに消防団がある方が安心だと思う。</li> <li>・消防団は洪水などの災害のときも活動しているから、なくなると困ると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防署の消火機器は年々進歩しているし、訓練も専門的になっているから消防団がなくなっても大丈夫だと思う。</li> <li>・団員の数が減っているのは仕事が終わってから訓練するのが大変だからだと思う。</li> <li>・消防団の活動のお金は税金だから、少しでも減らした方がいいと思う。</li> </ul>												
<p>3 消防団員の工夫や努力について知る 消防団の方の話を聞く</p>	<p>ストーリーチャーと十分に連携し、地域の安全を守る思いや努力などを話していただく。</p>	<p>「思考・判断」 消防団の果たす役割について、消防団の数、位置、活動など複数の視点から具体的に考えている。（発言内容）</p> <p><b>表</b></p> <p>何が、どのような内容から分かったのかを意識させて書かせる。</p>												
<p>4 本時のまとめ 本時の学習で分かったことや思ったことをノート書く。</p>	<p>消防団の方の話や友だちの意見を踏まえて具体的に書かせ、発表させる。</p>	<p>「関心・意欲・態度」 互いに協力したり助け合ったりして地域の安全を守ることの大切さに気づき、自分もその一員として地域の安全に関わろうとしている。（発言内容、ノート）</p>												
<p>5 次時の予告</p>														


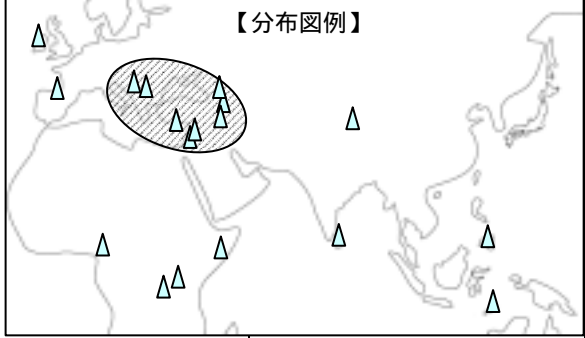
【中学校 第3学年】

本時の目標 - 模擬裁判を行い、評議・評決をすることを通して裁判員制度の意義や重要性を考える。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）
<p>1 前時の復習</p> <p>2 学習課題の把握</p>	<p>前時の模擬裁判までの学習の流れを簡単に確認する。</p>	<p><b>教</b></p> <p>裁判に関する基礎的・基本的な用語は確実に身に付けさせる。</p>
<p>3 判決を考える</p> <p>前時に考えた個人での判決を見直す。</p> <p>班で評議し、評決をまとめる。</p> <p>ことばの力活用POINT 班の話し合いの中でも、結論先行で、ポイントを絞り、根拠を明確にして発表する。 キーワードにまとめる。</p>	<p>なぜ、国民が裁判に参加しなければならないのだろう。</p> <p>ワークシートに書いた自分の判決について、その根拠が明確かどうか見直させる。</p> <p>評決は検察官の求刑か弁護人の弁論に応じた刑のどちらかを選択させる。色々な考えがあることを認めることが重要なので、無理に全会一致を求めない。</p> <p>対立点、合意点を整理させる。 評決し、その根拠（証拠や事実・行動）を整理させる。 キーワードで整理するよう指示する。</p>	<p><b>考</b></p> <p>自分の考えや根拠との共通点・相違点、判決とその根拠の整合性を検討させる。</p>
<p>4 各班の意見発表</p> <p>班ごとに出した評決を発表する。</p>	<p>評決と理由を班ごとのホワイトボードにまとめ、キーワードを使って説明させる。議論の中心となった点も口頭で発表させる。</p> <p>評決に至らなかった班には、どのような意見が出たのかを簡潔に発表させる。</p>	<p>「技能・表現」</p> <p>評議の中での対立点・合意点、評決の理由をキーワードで整理し、論理的に発表している。（発言内容）</p>
<p>5 感想の記入</p> <p>裁判員として評議・評決を行った感想をノートに書く。</p> <p>6 感想の発表と交流</p> <p>感想を発表し、交流することで、考えを共有する。</p>	<p>書きにくい生徒には、難しかった点、良いと思う点、分かったことなどを書かせる。</p> <p>机間指導の際に、取り上げる感想を決めておく。</p> <p>「同じような感想の人は？」などと問い、できるだけ多くの生徒に参加させる。</p>	<p><b>表</b></p> <p>他の班を説得することを意識させ、論理的に表現させる。</p>
<p>7 本時のまとめ</p> <p>学習課題に対する自分の考えをノートに書く。発表する。</p>	<p>前時までに学習していた、裁判員制度導入のポイントを踏まえて書かせる。生徒の発表を踏まえてまとめる。</p> <p>・国民の視点・感覚が裁判に反映される。 ・裁判が身近で分かりやすいものとなる。 ・司法に対する理解と信頼が深まる。</p>	<p>「思考・判断」</p> <p>模擬裁判の体験を踏まえ、裁判員制度の意義や重要性について、その導入の理由を踏まえ考えている。（発言内容・ノート）</p>


【高等学校 地理歴史科 地理B】

本時の目標 - 世界各地で生起している民族問題の原因を考察することができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）																
1 本時の目標の明示	なぜ、民族問題・民族対立は生起するのか。																	
<p>本時の学習テーマの確認</p> <p>2 現在世界各地で生起している民族問題について現在民族問題，対立地域がみられる地域を地図にまとめる。民族問題等が生起している地域が  に集中している理由を考える。</p>	<p>現在生起している民族対立等について発表させる。民族問題がみられる地域の分布図を作成させ，分布の特徴を読み取らせる。</p>	<p>【分布図例】</p> 																
3 民族問題の調査・研究	<p>個別の事例を調査する際，調べる視点を明示する。</p> <p>ポイント例 一つの事例だけでなく，複数の事例を比較して考察すること，対立の原因は何かを明確にすること。対立がはじまった時期に注目すること。</p>	<p><b>教</b></p> <p>調査研究を進める視点として，複数の事例を比較すること，時間軸の視点をおさえる。</p>																
4 民族問題の原因考察 調べた内容を発表する。	<p>生徒の発表の要点を表にまとめるなどして比較しやすくさせる。</p>																	
<p>ことばの力活用 POINT 複数の事例を比較しながら共通点，相違点を整理して発表する。</p>	<table border="1" data-bbox="603 1189 1348 1361"> <thead> <tr> <th>問題</th> <th>場所</th> <th>原因</th> <th>時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タミル暴動</td> <td>スリランカ</td> <td>言語，宗教が統一する政策</td> <td>1970 年ころ</td> </tr> <tr> <td>ボスニア</td> <td>旧ユーゴ</td> <td>隣国の独立による影響。</td> <td>1990 年代</td> </tr> <tr> <td>パレスチナ問題</td> <td>パレスチナ</td> <td>イスラエルの建国</td> <td>1948 年から</td> </tr> </tbody> </table>	問題	場所	原因	時期	タミル暴動	スリランカ	言語，宗教が統一する政策	1970 年ころ	ボスニア	旧ユーゴ	隣国の独立による影響。	1990 年代	パレスチナ問題	パレスチナ	イスラエルの建国	1948 年から	
問題	場所	原因	時期															
タミル暴動	スリランカ	言語，宗教が統一する政策	1970 年ころ															
ボスニア	旧ユーゴ	隣国の独立による影響。	1990 年代															
パレスチナ問題	パレスチナ	イスラエルの建国	1948 年から															
<p>発表をまとめた表を参考にして民族問題の原因を予想する。</p>	<p>民族対立がない時代が対立の時代よりも長いことに注目させる。（民族が異なることが対立の原因ではないことに気付かせる。） 生起した時期や場所による分類などを行わせる。</p>	<p>「思考・判断」 様々な事例から共通点や相違点を見付け，自分なり解釈を行っている。（発表内容）</p>																
5 民族問題の解決 各国で行われている民族問題の解決方法について資料で確認する。	<p>民族問題・対立を解釈する理論を紹介し，自分たちの考察と比較させる。 ナイジェリアやカナダなどで行われている民族対立を和らげる方法について資料を読ませ，内容を理解させる。</p>	<p><b>考</b></p> <p>さまざまな分析方法で共通点を見付けさせる。</p>																
6 まとめ 民族対立解決の方法について考える。	<p>民族問題・対立の考察の結果や民族対立解消の方法をもとに，民族問題解決の方法を200字程度で論述させる。</p>	<p><b>表</b></p> <p>学習した内容を踏まえてわかりやすく論述させる。</p>																

【高等学校 地理歴史科 日本史B】

本時の目標 - 絵画史から桃山文化～元禄・化政文化の流れを考察することができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）																				
1 本時の目標の提示																						
	桃山から江戸時代までどのように文化が変遷したか。																					
2 狩野派の絵画の考察 狩野派の2枚の絵を比較して違いをあげる。  桃山時代の絵画が豪華・壮大が特徴となっている理由を考える。	『大徳寺大仙院花鳥図』と『唐獅子図・風』とを比較させ、違いをあげさせるとともに、作成された時代を予想させる。  『唐獅子図屏風』の作成依頼者、作成させた目的、狩野派が活躍した場所を予想させるとともに、絵画そのものの変化や特徴については解説をする。	  考察の方法や視点など明確に示す。 <b>教</b>																				
3 桃山文化の特徴 桃山時代の絵画が豪華・壮大となった理由を発表する。	発表した内容について検討させる。  文化を考察する視点として、時代背景や文化の担い手、文化の広がり、文化の変容などに気付かせる。桃山文化を代表する他の文化財についても簡単に補足説明する。	<b>生徒の発表例</b> 権力者が自分の権力を誇示するために豪華・壮大な絵画を描かせたのではないが。  文化を考察する視点ごとに分析させる。 <b>考</b>																				
ことばの力活用POINT 発表する際、分析した視点と解釈に至った根拠を示させる。																						
4 寛政期，元禄期，化政文化の考察 寛政期，元禄期，文化・文政期の文化について考察する。	桃山文化の考察例を参考に各グループで独自の視点を設定し、その視点にそって考察させる。	「思考・判断」 文化を考察する視点を的確に設定して考察している。（行動観察）																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>視点</th> <th>内容</th> <th>視点</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時代背景</td> <td>寛政期（江戸時代初期）幕藩体制を強化しようとする時期</td> <td>時代背景</td> <td>元禄期幕政が安定し、大阪を中心に経済が発展する時期</td> </tr> <tr> <td>中心となった場所</td> <td>京都を中心として発展</td> <td>中心となった場所</td> <td>上方を中心に発展</td> </tr> <tr> <td>文化の担い手</td> <td>町衆，朝廷</td> <td>文化の担い手</td> <td>武士，町人，民衆まで</td> </tr> <tr> <td>文化の変容</td> <td>古典文学・文化の隆盛</td> <td>文化の変容</td> <td>現実主義、実証主義，洗練</td> </tr> </tbody> </table>	視点	内容	視点	内容	時代背景	寛政期（江戸時代初期）幕藩体制を強化しようとする時期	時代背景	元禄期幕政が安定し、大阪を中心に経済が発展する時期	中心となった場所	京都を中心として発展	中心となった場所	上方を中心に発展	文化の担い手	町衆，朝廷	文化の担い手	武士，町人，民衆まで	文化の変容	古典文学・文化の隆盛	文化の変容	現実主義、実証主義，洗練	
視点	内容	視点	内容																			
時代背景	寛政期（江戸時代初期）幕藩体制を強化しようとする時期	時代背景	元禄期幕政が安定し、大阪を中心に経済が発展する時期																			
中心となった場所	京都を中心として発展	中心となった場所	上方を中心に発展																			
文化の担い手	町衆，朝廷	文化の担い手	武士，町人，民衆まで																			
文化の変容	古典文学・文化の隆盛	文化の変容	現実主義、実証主義，洗練																			
5 考察した結果の発表，評価 各グループは各時期の文化について分析した内容を発表する。 評価問題に答える。	発表の際、時代背景や文化の担い手、文化の中心となった場所などをもとにそれぞれの文化の特徴を発表させる。 本時の学習を振り返らせるため、簡易な評価問題を実施する。 例 安藤昌益が封建社会を批判する「自然真栄道」を表したのはどの時期か。	各文化を比較し、違いを明確に表現させる。  「技能・表現」 桃山時代の絵画の特徴について、時代背景などとの関連を明確にして表現している。（行動観察，ワークシート） <b>表</b>																				



**【高等学校 公民科 政治・経済】**

本時の目標 - 世界的な穀物価格高騰の要因を、多角的に考察することができる。

学習活動	指導上の留意事項	評価規準（評価方法）								
<p>1 学習内容の確認 目標を確認する</p> <p>なぜ、穀物が高騰しているのかを多角的に考察できる。</p>										
<p>2 価格決定のしくみ 価格決定のメカニズムについて理解する。</p>	<p>一般的な事例を挙げて、価格メカニズムを理解させる。</p> <p>発問：閉店間際のスーパーで、一部の食料品の値段が引き下げられるのはなぜか。</p>	<p><b>教</b></p> <p>価格決定のメカニズムを、需要と供給の理論を用いて説明する。</p>								
<p>3 問題の把握 資料「穀物の国際価格の推移」から、価格高騰品目、経年変化を把握する。</p>	<p>品目ごとの、価格変動の推移や、過去10年間における穀物の国際価格の推移を読み取らせる。</p> <p>短期的な視点（突発的な価格の高騰）と長期的な視点（継続的な上昇）に気付かせる。</p>	<p><b>考</b></p> <p>穀物価格上昇の要因を、需要側と供給側の視点、短期的な視点と長期的な視点から予想させ、ワークシートに記入させる。</p>								
<p>4 穀物価格高騰の原因の考察 穀物価格高騰の原因をグループで考察する。</p> <p>グループで話し合った内容を、根拠を示して発表する。</p> <p>ことばの力活用POINT 根拠となるデータや理論を提示し、発表させる。</p>	<p>グループ学習（4人ずつ）</p> <p>需要側と供給側の視点、短期的な視点と長期的な視点から予想させ、ワークシートに記入させる。</p> <p>【ワークシート】</p> <table border="1" data-bbox="558 1299 1045 1377"> <tr> <td>需要側</td> <td>人口と所得の増加，食生活の変化</td> </tr> <tr> <td>供給側</td> <td>異常気象，バイオ燃料の生産増加</td> </tr> </table> <p>【ワークシート】</p> <table border="1" data-bbox="558 1422 1045 1512"> <tr> <td>短期的</td> <td>異常気象，バイオ燃料の生産増加</td> </tr> <tr> <td>長期的</td> <td>人口と所得の増加，食生活の変化</td> </tr> </table>	需要側	人口と所得の増加，食生活の変化	供給側	異常気象，バイオ燃料の生産増加	短期的	異常気象，バイオ燃料の生産増加	長期的	人口と所得の増加，食生活の変化	<p>「思考・判断」 「需要側」、「供給側」、 「短期的な視点」、「長期的な視点」それぞれの立場から、穀物価格高騰の要因を考察している。 (ワークシート )</p>
需要側	人口と所得の増加，食生活の変化									
供給側	異常気象，バイオ燃料の生産増加									
短期的	異常気象，バイオ燃料の生産増加									
長期的	人口と所得の増加，食生活の変化									
<p>5 本時のまとめ 本時の復習</p>	<p>グループごとに発表した内容に対して、他のグループから質問や意見を出させる。</p> <p>資料「中国の穀物生産量、消費量、輸出入量の推移」をもとに、長期的な視点から考察させる。</p> <p>本時の学習活動をレポートにまとめ提出させる。</p>	<p><b>表</b></p> <p>考察した過程や結果を、わかりやすく発表させる。</p>								